

## と畜場における衛生対策と枝肉細菌数の推移

豊橋市食肉衛生検査所

○後藤 弘樹 藤田 秀樹  
細井 美博 斎藤 富士雄

### はじめに

食肉の衛生を確保するためには食肉処理業、食肉販売業などの監視・指導とともに、流通の源であると畜場における衛生対策が重要となる。

平成8年に全国で発生した腸管出血性大腸菌O157による食中毒事件を契機に、同年12月25日にと畜場法施行規則の一部改正（ソフト面）、翌年11月12日にと畜場施行令の一部改正（ハード面）が公布され、と畜場にかかる構造設備および衛生措置の相互について具体的に規定された。

当検査所が所轄する（株）東三河食肉流通センターでは構造設備を政令に適合させるため、平成11年度から大幅な改修工事を行った。また、当所では処理工程における衛生状態を把握し、管理者及び解体作業員を指導するため定期的に枝肉のふきとりによる細菌汚染状況を調査している。今回、細菌汚染状況の推移と衛生対策について報告する。

### 政省令改正後におけると畜場の衛生対策

#### 1 と畜場での獣畜処理形態

- (1) 獣畜の体表及び糞便からの枝肉汚染防止を目的として清潔な獣畜の搬入
- (2) と畜相互の汚染防止、使用機械器具や手指の洗浄消毒をできるように作業工程をオンレール方式に変更
- (3) 各作業ポイントに温湯消毒・手洗設備の設置

#### 2 年度別改修内容

- 平成11年度 牛処理工程における設備・機器の改修、消毒・手洗設備の設置  
平成12年度 豚と殺方法の変更とそれに付随する設備の改修  
平成13年度 豚処理工程をオンレール方式に変更

#### 3 衛生管理

衛生措置を円滑に行うためにHACCPの概念に基づいて、施設管理の責任者として衛生管理責任者、作業衛生の責任者として作業衛生責任者を設置し、それぞれが衛生管理手順書、作業手順書により点検、確認、措置、従事者教育を行った。

枝肉のふきとり検査

期間：平成11年4月～平成14年1月

検体：牛、豚枝肉の胸部及び臀部

検体：牛、豚枝肉の胸部及び臀部

項目：一般細菌数、大腸菌群数及び大腸菌数

方法：食品衛生検査指針に準拠して行った。

検査結果：

<一般細菌数>

表1に牛と豚の年度別一般細菌数を、図1及び2に各年度における一般細菌数の月別推移を示した。一般細菌数は年度毎に減少傾向がみられた。

表1 牛・豚枝肉年次一般細菌数

	牛		豚	
	検体数	一般細菌数	検体数	一般細菌数
11年度	210	1204.43	168	1167.87
12年度	210	905.38	168	426.24
13年度	50	216.38	50	314.30

\*：コロニー/



図1 月別一般細菌数の推移(牛)

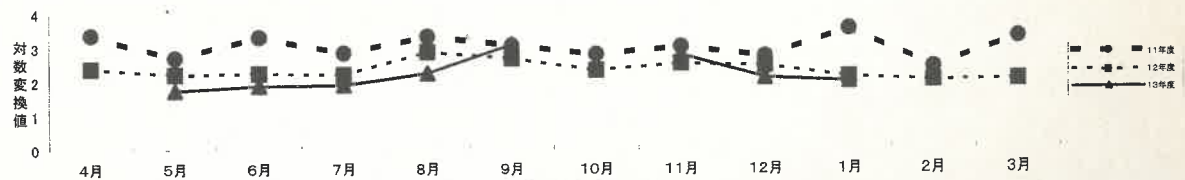


図2 月別一般細菌数の推移(豚)

<大腸菌群数・大腸菌数>

図3に大腸菌群数、図4に大腸菌数の推移を示した。牛枝肉は大腸菌群数、大腸菌数ともに11年度から12年度にかけて若干の上昇がみられるが、13年度は11年度、12年度と比較し減少した。豚枝肉は大腸菌群数、大腸菌数ともに大幅な減少がみられた。

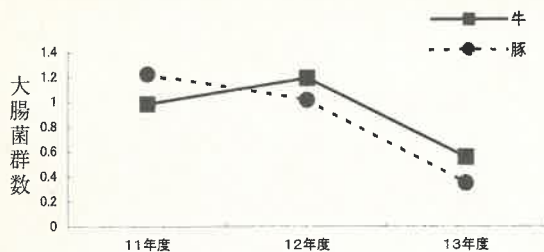


図3 大腸菌群数の推移

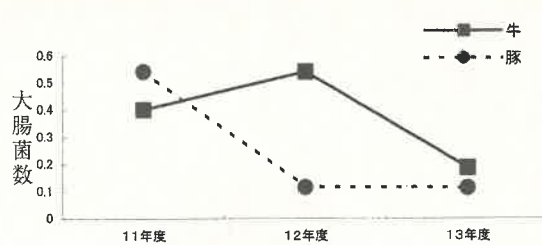


図4 大腸菌数の推移

まとめ

ふきとり検査結果が全体的に減少していることから、平成11年度から取り組んできた衛生対策が機能していると考えられる。また、平成12年度から厚生労働省の依頼で行ったふきとり検査の結果では全国的に見て比較的に良好な成績を得ている。(表2、3)

現在、安全な食肉供給のために「農場から食卓まで」の総合的な衛生管理が求められている。そのため、と畜場における衛生だけでなく農場における家畜衛生や流通・消費における衛生を視野に入れていかなければならなくなった。と畜場においては平成9年度からHACCPシステムの考え方に沿った衛生管理が導入され実施に向けて動いているがより安全で衛生的な食肉を供給していくためには、HACCPシステムの考え方を理解し、実践することが必要である。当検査所では施設改修や作業手順の改善等をふきとり検査で科学的に検証し、その情報を提供することにより衛生意識の向上を図る必要がある。

「農場から食卓まで」の総合的な衛生管理をより向上させていくために、今後も生産者、消費者及び他自治体等と情報を交換し、検査所としても迅速かつ正確な検査体制を確立させ、食肉の安全確保をはかっていきたい。

表2 全国ふきとり検査結果と当と畜場の比較 (一般細菌数)

	胸部		肛門周囲部	
	全国平均	当と畜場	全国平均	当と畜場
平成12年度秋期	1735.6	716.7	1417.1	4096.3
平成13年度春期	1412.3	123.9	636.2	114.6
平成13年度秋期	1129.9	205.3	723.6	308.8

(コロニー/ )

表3 全国ふきとり検査結果と当と畜場の比較 (大腸菌群数)

	胸部		肛門周囲部	
	全国平均	当と畜場	全国平均	当と畜場
平成12年度秋期	10.70	2.10	6.17	1.87
平成13年度春期	3.04	0.10	2.45	0.10
平成13年度秋期	5.92	0.15	9.90	1.80